

第2号様式

平成21年度第1回法務省入札監視委員会審議概要

開催日時及び場所	平成21年6月24日(水) 法務省大臣官房施設課入札室		
委員	角田 茂 (大学参与) ※委員長 只木 誠 (大学教授) 遠藤 和義 (大学教授)		
審議対象期間	平成20年12月1日から平成21年3月31日		
抽出案件	総件数 6件	(備考)	
工 事	一般競争		1件
	標準指名競争		1件
	随意契約		1件
業 務	簡易公募型 プロポーザル方式		1件
	標準指名競争		1件
	随意契約		1件
委員からの意見・質問, それに対する回答等	意見・質問		回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	具申又は勧告	回 答	
	なし	なし	

別 紙

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>1 工事の発注状況について</p> <p>入札結果の公表について、他省庁や地方公共団体では、入札調書等をホームページで公表しているが、法務省でも公表した方が透明性が高まるのではないか。</p> <p>2 応札者が一者であった契約について</p> <p>設備関係の入札で応札者が少ない理由をどう考えているか。</p> <p>入札回数が2回となっているが、1回目の最低入札額は公表しているのか。また、予定価格との乖離が大きい場合はどのようにしているのか。</p> <p>1回目の入札で予定価格と何割以上乖離した場合に2回目の入札について日を改めるといった内規は定めていないのか。</p> <p>入札参加申請は何者だったのか。</p> <p>3 指名停止等の運用状況について</p> <p>暴力団排除の推進に関する合意書に基づく措置の場合は、指名停止期間が無期限となっているが、解除する際はどのようにしているのか。</p> <p>指名停止期間中であっても一般競争</p>	<p>他省庁の動向を踏まえた上で検討します。</p> <p>技術者の専任などの制約があり、民間の工事で魅力があるものがあれば、そちらに流れることもあるのではないかと思います。</p> <p>最低入札額を提示して、予定価格に達していない旨知らせています。通常、2回目の入札をその日のうちに実施し、不調の場合には再度公告するなどしています。</p> <p>定めていません。</p> <p>1者ですが、入札者は入札参加者が1者であることを知らないので、競争相手がいることを前提に入札していると思われます。</p> <p>警察から排除要請の取消しの通知があれば、指名しないとする取扱いを取り止めることとしています。</p> <p>指名停止を受けていないことを競争参</p>

<p>入札への参加は可能なのか。</p> <p>4 工事発注案件</p> <p>(1) 一般競争入札</p> <p>【仙台第3法務総合庁舎新営(建築)工事】</p> <p>調査基準価格は予定価格の何パーセントとなっているのか。</p> <p>工事が履行されなかった場合の担保はどうなっているのか。</p> <p>(2) 標準指名競争入札</p> <p>【黒羽刑務所収容棟照明器具改修工事】</p> <p>特になし</p> <p>(3) 随意契約</p> <p>【広島刑務所収容棟等新営(建築)工事(第1回変更)】</p> <p>変更額が当初契約額の約25パーセントとなっているが、変更額が大き過ぎると業者は警戒し、競争を阻害する可能性があるため、大きな変更は避けるように発注したほうがよいのではないのか。</p> <p>5 業務発注案件</p> <p>(1) 簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>【平成20年度熊谷拘置支所等実施設計業務】</p> <p>基本設計はどのような形で行っているのか。</p> <p>業務実施方針等点数の主観点数と客観点数の配点割合はどうなっているのか。</p> <p>その理由は何か。</p>	<p>加資格要件の一つとしており、入札公告にその旨明記しています。</p> <p>85パーセントです。</p> <p>履行保証としては金銭的保証と役務的保証がありますが、本件は金銭的保証となっております。</p> <p>100パーセント発注できるよう努力していきます。</p> <p>当省の職員が実施しています。</p> <p>主観点数が43点、客観点数が57点となっています。</p> <p>技術者の資格及び経験を重視していま</p>
---	--

<p>(2) 標準指名競争入札</p> <p>【平成20年度国際法務総合センター（仮称）新宮に伴う敷地調査】</p> <p>落札額が低いですが、原因はどこにあると考えられるか。</p> <p>予定価格に問題があるのではないかと。</p> <p>(3) 随意契約</p> <p>【平成20年度福岡刑務所共同室棟等実施設計業務】</p> <p>特になし</p>	<p>す。</p> <p>敷地調査業務は人員と機械が中心であるため、一般的に落札率が低い傾向にあります。</p> <p>予定価格近くで落札するケースもあるので、低入札対策と合わせて検討します。</p>
--	--